



特集 P1

くまもとメディカルネットワーク をご存じですか？

～安心して暮らせる医療提供のために～

新任役職者紹介 P2

HOSPITAL TOPICS P3

知っ得!納得!Q&A P4

緩和ケアってなに？

診療科・部門紹介 P5

*呼吸器内科

*中央検査部

看護部だより P6

看護部の取り組み

「コロナ禍における意思決定 支援のためのアプローチ方法」

総合案内 裏表紙

本院の理念と方針及び 患者さんの権利と責務

Kumamoto University Hospital Medical Policy.

理念

本院は、高度な医療安全管理によって、患者本位の医療を実践し、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

方針

- 高度な医療安全管理体制による安全安心で質の高い医療サービスの提供
- 患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- 先進医療の開発・推進と優れた医療人の育成
- 地域社会に貢献できる医療・防災の拠点形成
- 理念達成のための健全な運営・経営の実践

患者さんの権利

- 個人の尊厳と意向が尊重されます。
- 良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- ご自分の意思で医療を選ぶことができます。
- ご自分の病状や治療方針について、他の医療機関の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 小児や高齢の方、意思を表出しづらい方も、適した方法でコミュニケーションが図られます。
- プライバシーや個人情報保護されます。

患者さんの責務

- ご自分の健康状態について正確に伝えてください。
- 治療に積極的に参画してください。
- 社会のルール、本院の規則を守ってください。
- 迷惑行為を行わないでください。
- 医療費を遅滞なく支払ってください。

病院敷地内

全面禁煙 のお知らせ



皆様のご理解とご協力をお願いします。

熊本大学病院の建物内、敷地内(含む中庭、駐車場)および病院周辺の道路は全面禁煙です。喫煙を確認した場合は、来院者には退去勧告、入院患者さまには退院や転院を勧告いたします。禁煙へのご理解とご協力をお願いいたします。

1. 熊本大学基金「病院診療教育研究支援事業」

熊本大学病院は、最良の医療を提供するための患者サービス向上、診療活動、医療人の教育・学術研究及び地域貢献活動への支援・環境整備等に資するため、「病院診療教育研究支援事業」を創設しました。

【お問合せ】熊本大学 研究・社会連携部 社会共創推進課
基金・同窓会事業室 TEL 096-342-3129

ご寄附をいただいた場合、税制上の優遇措置を受けることができます。詳細は熊本大学病院ホームページでご覧いただけます。



2. 病院寄附金

熊本大学病院では、若手医師をはじめとした医療人の教育・学術研究の支援並びに大学病院の管理運営等に資するため、企業や個人の皆様の篤志に基づいて寄附金を受け入れております。

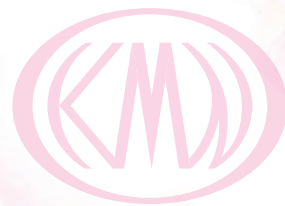
【お問合せ】熊本大学 医薬保健学系事務課 医学事務チーム
研究支援担当 TEL 096-373-5658

スマホ・携帯電話の方はこちらから

<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/kuh/kifu.html>

くまもとメディカルネットワークを ご存じですか？

～安心して暮らせる医療提供のために～



【監修】医療情報経営企画部長 中村 太志

くまもとメディカルネットワークの紹介

くまもとメディカルネットワーク(以下、KMN)は地域医療の連携を推進する目的で、熊本県と県医師会、熊本大学病院で取り組んでいる県民のための医療情報ネットワーク事業です。県下全域で運用が開始されてから6年目を迎え、参加者(患者さん)数は78,000人を超えました。

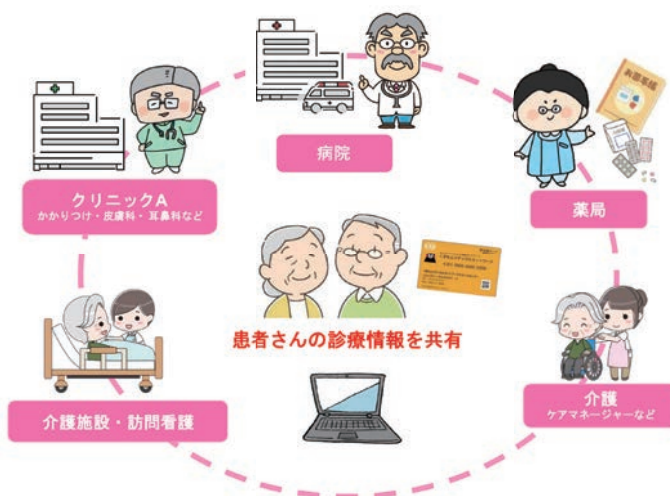
無料でご登録・ご参加いただけますが、KMNを利用できる病院や診療所、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護施設等の利用施設に参加同意書の提出が必要です。同意書でご指定いただいた利用施設間だけに、診療や調剤、介護等に必要な情報の共有が開始されます。

熊本大学病院ではKMNの利活用を推進するためのプロジェクトチームを設置し、利用施設との連携強化に取り組んでいます。KMNの活用促進は、検査や薬剤の重複を避けることができるだけでなく、多職種を介したチーム医療により質の高い医療や介護の提供につながります。

県民の皆様が地域で安心して暮らせる保健医療の提供をKMNは目指しています。くまもとメディカルネットワークのホームページに地域ごとの利用施設が紹介されています。ぜひご覧ください。

どんなメリットがあるの？

自身の診療・介護情報をKMNに蓄積しておくことは、通常の診療だけでなく、緊急搬送時や災害時にも役立てることができます。令和2年7月豪雨による人吉市と球磨村の洪水被害ではお薬やお薬手帳が流され、固定電話は不通となり、多くの



診療所で浸水によりカルテ情報を閲覧できなくなりました。

特筆すべきは、固定電話やFAXが復旧するよりも前にKMNが使用可能になり、KMNの参加者では非常時に関わらず治療歴や検査データ、画像データ、薬局の調剤情報を確認することができ、診療に役立てられました。また、遠隔地への患者搬送でも患者が到着する前から情報を共有でき、円滑な連携実績が報告されています。

政府から骨太方針2022が発表され、データヘルスの推進が明記されました。今後は病院だけが医療情報を保有する時代ではなくなり、自身の保健医療情報を閲覧できる仕組みが整備されていく予定です。今回ご紹介したKMNは生涯にわたるヘルスケアデータを収集できる基盤になるため、先進的な取り組みとして全国的にも注目されています。KMNの有用性を知っていただき、平時だけでなく有事にも備えた情報の利活用が浸透していくことを願っています。



乳腺・内分泌外科 教授
山本 豊

2022年4月1日付けで、熊本大学病院乳腺・内分泌外科教授を拝命しました。

私は宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町の出身で、1991年に宮崎医科大学を卒業し、外科専門研修後、2000年より熊本大学病院で主に乳癌診療にあたってきました。

当科では、乳癌の集学的診療(診断・手術・薬物療法・放射線治療)を中心とした乳腺診療と内分泌臓器である甲状腺および副甲状腺の外科的治療をおこなっております。

当科における乳癌診療では、診断から

治療、そして緩和ケアまでトータルに行い、しかも各分野に最先端の標準治療を導入していくこと、さらに患者さんにかかわる各職種(乳腺外科医、形成外科医、放射線治療医、臨床遺伝学医、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、事務等)が協力し、チーム医療を実践しています。県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院として、他の医療機関とも連携し、県民へ最高水準の乳癌診療をとどけるべく医局員とともに取り組んでおります。

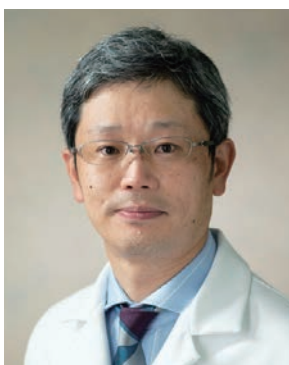


麻酔科 教授
平田直之

2022年4月1日付けで、熊本大学大学院生命科学研究部麻酔科学講座教授を拝命いたしました平田直之です。

私は、長崎県佐世保市で生まれ育ち、長崎県内の中学高校を卒業後に熊本大学医学部に入学し、2000年に卒業いたしました。熊本大学卒業後、これまで22年間、札幌医科大学病院や北海道内各地の病院で麻酔科診療に携わり、米国ウィスコンシン大学では麻酔薬が心血管機能に及ぼす影響について研究して参りました。

熊本大学病院麻酔科では、35名の麻酔科医師と共に、手術に臨む患者さんの苦痛を軽減し安全を保つ手術麻酔のほか、様々な臓器障害を合併した患者さんに対する集中治療を担当しております。最先端の医療を提供することは大学病院の使命の一つです。他科診療科や医療スタッフとの連携を図り、科学的根拠に基づいた安全で質の高い麻酔科医療を熊本大学病院の患者さんに提供できるよう尽力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



医療情報経営企画部 教授
中村太志

2022年4月1日付けで医療情報経営企画部の教授を拝命いたしました。私は熊本市の中学高校で学び、久留米大学医学部医学科を卒業。2001年に熊本大学病院循環器内科に入局し、循環器専門医として研鑽を積んできました。博士(医学)取得後は米国ジョンズ・ホプキンス大学で基礎研究を行い、臨床応用に向け医工連携や生体情報を活用したヘルスケアに取り組んできました。当院病院情報システムに現行の診療データウェアハウスが導入されて以降、私は収集蓄積されたデータを厚生労働省が推進する標準規約に変換出力する事業に参加しました。

この情報処理により、糖尿病や循環器疾患の多施設共同データベース研究に本院の参画が可能になりました。2018年からは電子カルテやネットワーク保守、病院内の企画運営に携わり、システムの安定稼働と切れ目のない診療業務を支えてきました。今後、革新的技術が次々に登場し、医療DXが加速されていくでしょう。情報処理技術による情報と情報のインターフェースだけでなく、情報と人、人と人の結び付きを強化できる環境整備を心がけ、常に安心安全で質の高い医療を地域に提供できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「熊本型」へり救急搬送体制10周年記念の感謝状が授与されました

2022年1月31日に熊本県庁で、「熊本型」へり救急搬送体制10周年記念感謝状贈呈式が開催され、本院を含む熊本市内の4病院が蒲島知事から感謝状を授与されました。

今後も熊本県及び関連病院と連携を図り、安全かつ円滑なへり救急搬送の運用に尽力していきます。



※「熊本型」へり救急搬送体制・・・県の防災消防へりとドクターへりの2機が連携して救命に当たる県独自の救急体制。熊本赤十字病院、熊本医療センター、済生会熊本病院、本院でへりの受入を行っている。

感染症対応実践学寄附講座の開設について

2022年4月1日付けで、熊本県からの寄附に基づき、熊本大学病院に「感染症対応実践学寄附講座」を設置しました。

同講座は、熊本県の人口10万人当たりの感染症専門医数が全国平均より下回っている状況を受け、熊本県全域で感染症に対応できる医療体制の連携・強化を図ることを目的として設置されました。

同講座では、今後5年間で9名の感染症専門医を育成し、その人材を熊本県全域へ派遣することとし、併せて、県内各地域における医療現場の最前線に立つ医療従事者の人材育成を目的としたリカレ

ント教育を実践することにより、熊本県におけるゆるぎない医療体制の確立へつなげていくことを目標としています。



前列中央から、蒲島県知事、小川学長、馬場病院長、松岡副病院長
後列左から3番目が坂上病院長特別補佐、4番目が中田感染制御部長

ホームページをリニューアルしました

2022年4月5日、熊本大学病院の公式ホームページをリニューアルしました。

スマートフォンでの表示に対応し、トップページのコンテンツを患者さんやそのご家族の目線により使いやすく変更いたしました。様々な情報を発信していますので、この機会にぜひ一度ご覧ください。

スマホ画面イメージ⇒



病院からのお願い — 提供する医療の質や安全を確保するために —



病状説明等は、原則として
平日の診療時間内
とさせていただきます。

医療スタッフの健康と医療安全を守るため、患者・ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いします。

熊本大学病院長

ボランティア活動員募集

●活動時間

月曜日～金曜日(休日を除く)8:30～17:00
※回数、時間はご相談に応じます。
(週1回、2～3時間の活動でも可能です。)



●ボランティア内容

外来でのお世話、受診手続きの説明等、診療科等への案内、車椅子の手配と介助、幼児の世話、通訳、手話通訳、視聴覚障害者への受診付添、自動再来受付機等の操作案内など

スマホ・携帯電話の方はこちらから



【お問合せ】熊本大学病院 医療サービス課 外来担当 TEL096-373-5557 <https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/kuh/volunteer.html>

「緩和ケアってなに？」

緩和ケアとは、病気になったとき、「からだ」や「こころ」のつらさを和らげる医療やケアのことです。病気と診断された時から始めるべきと言われており、ご本人だけでなく、ご家族の方も対象となります。さらに詳しく知りたい方は、当緩和ケアセンターのホームページ (<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/palliativecare/>) を御覧ください。

緩和ケアを希望するときは、 Q どうすればいいの? A

基本的な緩和ケアは、各診療科の医師や看護師も習熟していると思います。まずは、担当医や看護師に、気になっていることや心配事などをご相談ください。専門的な緩和ケアは、当院では緩和ケアチームと緩和ケア外来・がん看護外来で実施しています。そのほとんどは院内の診療科や看護師からコンサルト(紹介)があった方です。当院の外来に通院中の方、あるいは入院中の方やそのご家族が緩和ケアチームの支援を希望される場合は、各診療科の担当医や看護師にお伝えください。

担当医や医療スタッフと 緩和ケアチームの人は Q 何が違うの? A

担当医や看護師による診療やケアだけでは、複雑な苦痛に対応することが難しくなる場合があります。例えば、難治性の痛みだったり精神的なつらさが長引いたりした場合、総合的な症状緩和や専門的なケアを必要とします。こんな時、専門的緩和ケアとして緩和ケアチームが外来や病棟のスタッフと協同して対応します。

つまり、緩和ケアチームが関わるメリットは、担当医や看護師に加えて様々な苦痛や症状を緩和するための専門的なトレーニングを受けた多職種の支援を受けられることです。

緩和ケアチームには Q どんな人がいるの? A

当院の緩和ケアチームには、緩和ケアの経験が豊富な医師、看護師、薬剤師、栄養士、公認心理師、理学療法士、ソーシャルワーカーなどが所属しています。

具体的に Q どんな相談ができるの? A

お体の苦痛(痛みや倦怠感など)や不安で眠れないといった気持ちのつらさだけでなく、看護のこと、介護のこと、仕事のこと、家族のこと、経済面や療養の悩みにも対応できるよう、カンファレンスを定期的に行いながら多職種で対応します。辛さや苦悩は人それぞれであり、時には患者の意向を尊重した治療やケアのための意思決定支援も担当医や看護師と協働しながら行います。



- 1 がん等の重い病気と診断された時の不安感
- 2 治療にともなう身体的・精神的・経済的苦痛
- 3 手術後の痛み・骨転移の痛み等、多くの疼痛コントロール
- 4 息苦しさ・倦怠感等の身体症状
- 5 眠れない・気分の落ち込み等の精神症状
- 6 医療費の問題
- 7 転院や自宅療養について
- 8 看取り:その人の人生観・死生観・価値観の尊重

呼吸器内科



呼吸器内科では咳、痰、息切れ、喘鳴（ヒューヒュー、ゼーゼー）、血痰、息詰り、発熱、胸痛、胸水などの呼吸器症状のある方、検診にて胸部レントゲン、CTで異常陰影の指摘を受けた方の精密検査を行います。呼吸器内科医が頼りにされる疾患としては、肺癌、気胸、COPD・喘息、間質性肺炎、睡眠呼吸障害、呼吸器感染症、呼吸不全などがあります。

診断法・治療法は日々進歩を遂げており、最新の専門医療を提供することが大学病院の呼吸器内科の役割と考えています。地域の病院と連携をとりながら様々な呼吸器疾患に対する最新の検査・治療法を提供しています。さらに、新たな診断・治療法確立に向けた基礎研究・臨床研究を行い、国内だけに留まらず海外での共同研究も進めています。熊本大学病院呼吸器内科ではこうした診療、研究を将来的に継続していくために、そして、どの地域の患者さんにも安定して安心できる医療を届けるために、未来を担う医師の育成を大切に考えています。

皆で一丸となり、呼吸器診療・呼吸器病学の発展に全力で取り組んでいます。

中央検査部



中央検査部は中央採血室を含む臨床検査技師・看護師・医師からなるスタッフ50名を超える臨床検査部門です。日々診療科からの検査依頼171項目、時間外検査70項目に対応し、精度の高い検査結果を、円滑に提供する部門として日々努力しています。また診療科の要望や治験業務などにも柔軟に対応しています。診療支援の強化として、令和4年8月からは時間外検査に

おいて夜間2名体制・日勤2名体制を構築し、より高精度の検査データを24時間体制で提供運用していきます。

外来の中央採血室では待ち時間緩和対策として、昨年6月より段階的に外来受付と同時に採血開始し、スムーズに診察が始まるよう対応しております。スタッフおよび関係部署のご協力により、待ち時間短縮効果がみられました。また院内で行っている超音波検査についても「超音波検査センター」として機能し始める予定で、タスクシフト・シェアに繋がる点や検査機器の効率的利用、検査効率の向上などについても寄与できるものと確信しております。



看護部の取り組み

「コロナ禍における意思決定支援のためのアプローチ方法」

医療者が患者さんへ必要な情報を提供して、患者さんが医療やケアを選択できるように支援することを意思決定支援と呼んでいます。患者さんにとって人生の大きな決定のため、患者さんご家族等（親族関係のみを意味せず患者さんが信頼を寄せ支えになる人）と話し合うことも必要です。しかし、コロナ禍における面会制限の現状では、ご家族等と医療者間と直接話し合う機会が限られることから患者さんの意思決定に及ぼす心理的負担が懸念されます。

そのため看護部では「患者さんの意向を尊重した信頼される看護を実践する」を目標に取り組んできました。取り組みのひとつとして、専門看護師・認定看護師が作成した「コロナ禍における意思決定支援のためのアプローチ方法」を今回ご紹介します（図を参照）。

患者さんご家族等のお気持ちを伺い、患者さんの意向を大切にして医療や療養生活に関する選択を一緒に考えますので、御相談いただきますようよろしくお願いします。

「コロナ禍における意思決定支援のためのアプローチ方法」

患者さんの意向を確認するための意図的な情報収集

患者さんが日頃大切にしていることや、どんな医療やケアを受けたいか受けたくないか等、意向を尊重するために患者さんや患者さんが大切に思っている家族等から、お考えをお伺いします



患者さんと、ご家族等とのコミュニケーションの促進

患者さんと家族等間の入院中の連絡方法を確認して、状況に応じて通信機器等の活用や連絡手段を調整し、患者さん家族等間のコミュニケーションを支援します



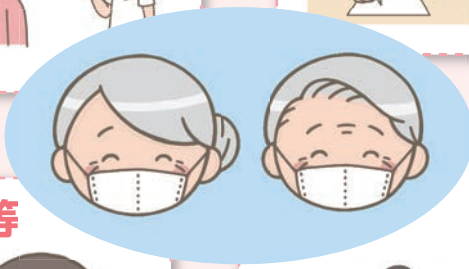
患者さんと、ご家族等への心理的ケア

面会制限による、患者さん、ご家族等の心理的負担を軽減するために、ご不安なことや気がかりなことなど、お気持ちを伺い支援します



医療者間の連携推進

患者さんが、どこでどのような生活をしたいか等の重要な情報を共有して入院前から退院後の生活を支えるために、外来と病棟、多職種で医療者が連携し支援します



総合案内

- ① 受付時間 初診 8:30~11:00《紹介状必要》 再診 8:30~16:00*
8:05~(自動再来受付機)
- ② 予約受付時間 8:30 ~ 17:15
- ③ 診療時間 8:30 ~ 17:15
- ④ 休診日 土曜、日曜、祝日、振替休日および年末年始(12月29日~1月3日)
- ⑤ 診察日 ◎印(外来診療日参照)の日は初診も再診も行なっております。
- ⑥ 通常の診療以外に次の相談、検診を行なっております。
■ 禁煙外来(呼吸器内科) ■ セカンドオピニオン(全診療科)
■ 検査カフェ(中央検査部) ■ 不妊相談(産科)

*再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。

外来診療日

※2022.08.01 現在

- 診療日一覧(初診・再診=◎、再診=再、特殊再診=特再、休診日=休)
- 全診療科完全予約制、初診は紹介状が必要です。
- 脳神経外科の初診はCTもしくはMRIのCD-ROMも必要となります。
- 再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。

		診療科名	月	火	水	木	金	
外来診療棟	1階	A 循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎	
		心臓血管外科	休	◎	休	◎	休	
		総合診療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	B	脳神経内科	◎ 再AMのみ	◎	◎	◎	◎	
		整形外科	休	◎	休	◎	◎	
		脳神経外科	◎	休	◎	休	◎	
		麻酔科・緩和ケア	◎	◎	◎	◎	◎	
	C	小児外科	◎	休	再	◎	◎	
		移植外科	◎	休	◎	◎	◎	
		小児科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階	D	糖尿病・代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
			乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎	◎	休
			病理部	病理解剖	病理解剖	病理解剖	病理解剖	◎
		E	血液内科	◎	再	◎	◎	◎
			膠原病内科	◎	再	再	再	◎
腎臓内科			◎	◎	◎	◎	◎	
F		呼吸器内科	◎	◎	◎	再 AMのみ	◎	
		消化器内科	◎	◎	◎	◎	◎	
		呼吸器外科	休	◎	休	◎	◎	
		消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎	
G		皮膚科	◎	再	◎	◎	◎	
		形成外科	休	休	◎	◎	休	
3階	H 歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎		
	I 眼科	◎	◎	休	◎	特再		
	J 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	◎	休	◎	休	◎		
		産科	◎	休	◎	再	◎	
	L 泌尿器科	休	◎	休	◎	◎		
画像診断・治療科		◎	休	◎	休	◎		
4	M 神経精神科	◎	再	◎	◎	◎		
中央診療棟	B1階	放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階	リハビリテーション科	休	◎	休	◎	◎	

熊本病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から認証を受けています。地域医療機関との連携を行なうため、原則としてかかりつけ医(他の医療機関)の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初診の際に「保険外併用療養費(選定療養)」として5,500円(自費、令和元年10月現在)をご負担いただきます。

※予約について、お尋ねになりたい場合は、下記にご連絡ください。

外来予約センター TEL 096-373-5973

新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、掲載内容に変更が生じる可能性があります。最新情報は熊本病院HPをご確認下さい

病棟案内

【西病棟】	【東病棟】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、血液内科、膠原病内科	12F 院内学級、多目的ホール、患者多目的室、ライブラリー・インフォメーション、看護部
血液内科、膠原病内科	11F 呼吸器内科、呼吸器外科、感染病床
泌尿器科、皮膚科、形成外科	10F 歯科口腔外科、泌尿器科
脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科	9F 眼科、循環器内科、消化器外科、糖尿病病床、救急部
小児科、総合周産期母子医療センター(NICU、GCU)	8F 小児外科、移植外科、呼吸器外科、血液内科、膠原病内科、緩和ケア病床、小児科
総合周産期母子医療センター(産科、MFICU)	7F 婦人科、乳腺・内分泌外科
ICU、腎・血液浄化療法センター	6F 心臓血管外科、HCU
脳神経外科、画像診断・治療科、腎臓内科、SCU	5F 循環器内科、CCU
消化器外科、腎臓内科	4F 消化器外科
RI	3F 消化器内科
神経精神科	2F 整形外科、救急部
栄養管理室、栄養相談室、防災センター	1F 薬剤部、売店、美容室

院内案内



2022年4月から構内へバスの乗り入れ開始しています!

「大学病院構内」で停車するバスの路線

- JR熊本駅より 中央環状線 O3-0、O3-1
- JR南熊本駅より 御幸木部線 P2-4、P2-5

外来玄関スグ! ぜひご利用ください

交通案内

- 熊本駅からバスに乗り、『大学病院前・構内』下車
JR熊本駅 所要時間約10分
- 南熊本駅からバスに乗り、『大学病院前・構内』下車
JR南熊本駅 所要時間約5分
- 桜町バスターミナルからバスに乗り、『大学病院前』下車
桜町バスターミナル 所要時間約10分
- 阿蘇くまもと空港からリムジンバスに乗り、『桜町バスターミナル』下車
『桜町バスターミナル』からバスに乗り、『大学病院前』下車 所要時間約70分
- 九州自動車道 熊本インター出口
国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折 所要時間約30分



熊本大学病院 〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL(096)344-2111(代) FAX(096)373-5906
https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/